平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名　JALCOホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6625　URL　http://www.jalco-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田辺　順一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 大浦　隆文　TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日　平成25年11月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,111	240.3	149	―	180	―	267	―
25年3月期第2四半期	914	―	△108	―	△143	―	△178	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　258百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△223百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.85	―
25年3月期第2四半期	△17.56	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	3,803	1,832	48.1	45.89
25年3月期	1,750	1,322	75.1	36.37

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　1,832百万円　25年3月期　1,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	108.9	400	―	420	―	430	―	10.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	39,925,915 株	25年3月期	36,175,915 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	128 株	25年3月期	68 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	38,997,398 株	25年3月期2Q	10,175,849 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（５）（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（６）（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和や政府による公共投資等によって経済成長を目指す「アベノミクス」への期待感や株高による消費マインドの改善により民間消費が好調を維持したことや、円安による輸出関連企業を中心とした企業収益の回復によって設備投資も増加傾向を示すなど、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、消費税率の引き上げや、欧州の債務問題、アメリカの財政状況、中国の景気先行き不安などにより、依然として不透明な状況は続いております。

このような状況のもと、当社グループは、平成24年９月に電子機器用部品事業の事業譲渡を完了し、現在は、パチンコホールを主たるお客様として、中古遊技機の販売・レンタル、ファイナンス（貸金）、不動産等のオフバランス、及び設備機器等販売などを行うアミューズメント事業に経営資源を集中しております。

当第２四半期連結累計期間におきましてもアミューズメント事業は順調に推移し、平成24年１月に新規事業として開始した中古遊技機の販売・レンタル事業が好調に推移していることに加えて、貸金業も平成25年４月に第１号案件を実行して以来、貸出金額の積み増しが進んでおり、平成25年９月には株式会社マルハンとの間で不動産オフバランス事業の第１号案件の契約を締結するなど、事業ポートフォリオの充実も順調に進行しております。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高31億11百万円、営業利益１億49百万円、経常利益１億80百万円となりました。また、平成25年６月に当社子会社である株式ジャルコの子会社であるPT.JALCO ELECTRONICS INDONESIA（当社の孫会社　以下、「JALCO INDONESIA」といいます。）が保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことに伴い固定資産売却益２億62百万円を特別利益として計上し、当該売却にかかる税金費用、その他諸費用92百万円を特別損失として計上したことに加えて、中古遊技機レンタル資産の売却により固定資産売却損48百万円を特別損失として計上したことなどにより、当期純利益は２億67百万円となりました。

なお、当第２四半期連結累計期間末時点でのアミューズメント事業における運用資産は、売掛金３億56百万円、たな卸資産３億26百万円、レンタル資産７億67百万円、貸付金14億円、不動産３億11百万円、合計31億61百万円となっております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して３億11百万円増加し12億19百万円となりました。これは主に、アミューズメント事業において売掛金が１億67百万円減少したことに対して、商品在庫が２億35百万円、貸付金2億円が各々増加したことに加えて、現金及び預金が82百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して17億41百万円増加し25億84百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことなどにより土地23百万円、建物及び構築物61百万円が各々減少したことなどに対して、アミューズメント事業においてレンタル用資産３億18百万円が増加し、貸付金12億円が発生したこと、不動産取得に伴う手付金3億11百万円支払ったことなどによるものであります。

以上により、当第２四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して20億53百万円増加し38億３百万円となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して８億60百万円増加し11億11百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことに伴い、前受金80百万円が減少したことに対して、当該譲渡に関連して今後発生する税金費用、その他諸費用として引当金40百万円を計上したことに加えて、アミューズメント事業における事業資金として９億円１百万円の借入を行ったことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して６億83百万円増加し８億59百万円となりました。これは主に、長期借入金６億86百万円が増加したことなどによるものであります。

以上により、当第２四半期連結累計期間末の負債純資産は、前連結会計年度末と比較して20億53百万円増加し38億３百万円となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して５億９百万円増加し18億32百万円となりました。これは主に、当第２四半期連結累計期間において、当期純利益２億67百万円を計上したことに加えて、平成25年５月の新株予約権行使による新株式発行により資本金及び資本剰余金合計で２億58百万円が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は２億４百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、３億45百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期利益３億13百万円を計上したのに対して、アミューズメント事業におけるレンタル用資産の取得に伴う支出額３億83百万円（減価償却費差し引き後）が発生し、販売用資産取得に伴う支出額２億35百万円が増加したことに加えて、法人税等の支払額41百万円が発生したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、14億44百万円の支出となりました。これは主に、アミューズメント事業における貸金業の貸付金14億円が発生したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、18億41百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金純増額９億１百万円、長期借入金純増額６億88百万円が各々発生したことに加えて、平成25年５月の新株予約権行使に伴い、収入２億51百万円が発生したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結通期業績予想に関しましては、平成25年８月２日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

当第２四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,759	229,248
受取手形及び売掛金	585,658	374,575
商品及び製品	91,153	326,285
繰延税金資産	3,286	4,083
短期貸付金	－	200,000
その他	80,593	84,815
流動資産合計	907,451	1,219,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,681	1,967
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	－
工具、器具及び備品（純額）	9,048	143
レンタル用資産（純額）	449,717	767,997
土地	194,731	171,250
建設仮勘定	－	311,072
有形固定資産合計	718,914	1,252,431
無形固定資産		
その他	386	21,284
無形固定資産合計	386	21,284
投資その他の資産		
投資有価証券	340	340
長期貸付金	－	1,200,000
差入保証金	6,647	6,747
長期未収入金	111,581	99,457
その他	4,854	4,413
投資その他の資産合計	123,423	1,310,957
固定資産合計	842,724	2,584,672
資産合計	1,750,175	3,803,680

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,416	57
短期借入金	－	901,660
１年内返済予定の長期借入金	24,172	26,256
未払法人税等	41,329	46,962
未払金	8,288	922
未払費用	1,122	352
レンタル売上前受金	89,446	90,870
その他前受金	80,268	－
海外納税損失引当金	－	22,337
不動産売却損失引当金	－	16,892
設備売却損失引当金	－	996
その他	4,801	4,167
流動負債合計	250,844	1,111,475
固定負債		
長期借入金	150,813	837,685
繰延税金負債	16,332	16,332
退職給付引当金	9,356	5,935
固定負債合計	176,502	859,953
負債合計	427,346	1,971,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	855,000	984,157
資本剰余金	2,907,552	3,036,709
利益剰余金	△2,336,708	△2,069,443
自己株式	△5	△13
株主資本合計	1,425,837	1,951,410
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△110,073	△119,158
その他の包括利益累計額合計	△110,073	△119,158
新株予約権	7,065	－
純資産合計	1,322,829	1,832,251
負債純資産合計	1,750,175	3,803,680

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	914,453	3,111,867
売上原価	799,564	2,845,900
売上総利益	114,888	265,967
販売費及び一般管理費	223,272	116,774
営業利益又は営業損失（△）	△108,383	149,193
営業外収益		
受取利息	54	22
受取配当金	215	68
為替差益	－	23,569
受取賃貸料	20,970	13,229
その他	7,710	4,787
営業外収益合計	28,951	41,676
営業外費用		
支払利息	38,437	3,735
為替差損	21,244	－
賃貸不動産経費	－	3,408
その他	4,766	3,087
営業外費用合計	64,448	10,230
経常利益又は経常損失（△）	△143,880	180,638
特別利益		
固定資産売却益	5,308	272,964
事業譲渡益	41,437	－
スクラップ売却益	6,348	－
その他	5,967	417
特別利益合計	59,062	273,381
特別損失		
固定資産売却損	－	49,048
海外納税損失	－	19,572
海外納税損失引当金繰入	－	22,337
不動産売却損失	－	31,548
不動産売却損失引当金繰入	－	16,892
設備売却損失引当金繰入	－	996
特別退職金	29,391	－
減損損失	14,945	－
関係会社清算損	43,101	－
その他	4,650	－
特別損失合計	92,090	140,394
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△176,908	313,625
法人税等	1,755	46,360
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△178,664	267,265

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△178,664	267,265

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△178,664	267,265
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,682	－
為替換算調整勘定	△46,118	△9,085
その他の包括利益合計	△44,435	△9,085
四半期包括利益	△223,099	258,180
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223,099	258,180

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△176,908	313,625
減価償却費	40,051	1,803
レンタル用資産減価償却費	47,915	481,213
減損損失	14,945	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△85,584	△3,421
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	△20,736	－
受取利息及び受取配当金	△269	△90
支払利息	38,259	3,735
為替差損益（△は益）	10,383	△13,539
有形固定資産売却益	△5,308	△272,964
有形固定資産売却損	－	50,044
海外納税損失	－	41,909
不動産売却損失	－	48,440
関係会社清算損益（△は益）	43,101	－
投資有価証券売却損益（△は益）	3,864	－
事業譲渡損益（△は益）	△41,437	－
売上債権の増減額（△は増加）	△182,830	211,247
たな卸資産の増減額（△は増加）	△68,116	△235,132
レンタル用資産の取得による支出	△362,490	△864,553
仕入債務の増減額（△は減少）	△26,864	△1,359
未払又は未収消費税等の増減額	－	△1,801
その他	31,325	△9,489
小計	△740,701	△250,330
利息及び配当金の受取額	△275	550
利息の支払額	△17,148	△3,735
海外不動産売却に係る納税損失	－	△19,572
不動産売却関連損失	－	△31,548
法人税等の支払額	△4,091	△41,329
法人税等の還付額	29	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	△762,186	△345,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△25,000
有形固定資産の取得による支出	△8,595	－
有形固定資産の取得に係る手付金支出	－	△311,072
有形固定資産の売却による収入	2,231	312,253
有形固定資産の売却に係る手付金収入	68,210	－
投資有価証券の取得による支出	△268	－
投資有価証券の売却による収入	7,563	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	71,791	－
貸付けによる支出	－	△1,400,000
差入保証金の差入による支出	△5,608	－
差入保証金の回収による収入	11,949	－
無形固定資産の取得による支出	－	△21,000
その他	60	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,333	△1,444,633

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	510,000	901,660
長期借入れによる収入	－	700,000
長期借入金の返済による支出	△22,242	△11,044
株式の発行による収入	－	251,250
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,691	－
自己株式の取得による支出	△0	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	475,066	1,841,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,004	6,204
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△142,790	57,489
現金及び現金同等物の期首残高	295,435	146,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	152,644	204,248

四半期連結財務諸表に関する注記事項

（４）（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（５）（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期連結累計期間におきまして、新株予約権の権利行使が行われことにより、資本金が129,157千円、資本準備金が129,157千円それぞれ増加し、この結果、当第２四半期連結会計期間末において資本金が984,157千円、資本剰余金が3,036,709千円となっております。

（６）（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル・割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	482,233	432,220	914,453	－	914,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	482,233	432,220	914,453	－	914,453
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△114,857	80,313	△34,543	△73,840	△108,383

（注）１.セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△73,840千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,840千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２.セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「電子機器用部品事業」セグメントにおいて、撤退のため使用価値がなくなったことから、14,945千円を減損損失として特別損失に計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

当社グループは、アミューズメント事業を主たる事業としており、その他に電子機器用部品事業を行っておりますが、前連結会計年度において電子機器用部品事業を他社に譲渡したことにより、当第２四半期連結累計期間における電子機器用部品事業の売上は、譲渡先からのブランド使用料のみとなっております。従いまして、報告セグメントはアミューズメント事業のみとし、その他の事業は全体として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。